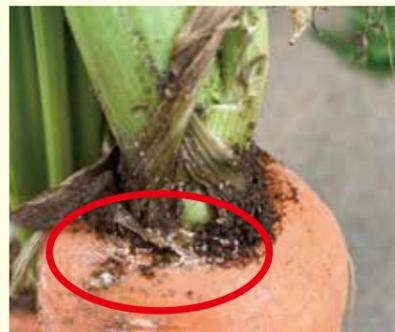


春ニンジン

山武経済センター 営農指導担当者 富谷 公博



写真③ 株元に発生した菌核



写真④ 春ニンジンの白絹病

令和2年産は、暖冬傾向だったため、3月までは生育が進みましたが、4月に入り曇雨天が続き、茎葉が繁茂した圃場では、白絹病が発生しました。白絹病は、梅雨など雨が多い時期に発生しやすくなります。初期は日中に葉が軽くしおれて、朝夕には回復します。発病すると株元が軟化・腐敗し、表面に白色絹糸状の菌糸が発生します。症状が進むと褐色あるいは黄白色で粟粒状の小さな菌核が生じます(写真③④)。

特に、ニンジンを連作している圃場、排水不良の圃場、風通

白絹病について

しの悪い圃場で多発します。その他にも、落花生やスイカなど、多くの作物に発生する病気です。

対策のポイント

- ① 前年に発生した圃場での作付けを避ける。
 - ② 明渠などで圃場の排水を良くする。
 - ③ 発生の恐れがある圃場で作付ける場合は、バスアミド微粒剤(10^μ当たり20〜30^キ、播種または定植21日前まで、1回)で土壌消毒を行う。
- (注)現在、生育中のニンジンに適用のある白絹病の薬剤はありません。

表① 播種時期による品種の使い分け(露地トンネル栽培)

品種名	1月			2月			3月			4月			5月			6月		
	上旬	中旬	下旬															
彩誉	●	●	●	●	●	●												
FSC-015(※1)			●	●	●	●												
翔彩(※2)	●	●	●	●	●	●												

●...播種期 ■...収穫期

(※1) 彩誉を栽培してしみ腐れ病が多発する圃場に適する

(※2) 彩誉を栽培して抽苔する圃場に適する

9月の分析経過について

合計6点	
多成分一斉分析	抑制トマト……………3点
残留農薬分析点数	抑制ミニトマト……………1点
	抑制キュウリ……………1点
	秋香ゴボウ……………1点

※残留農薬分析において、基準値を上回る成分は検出されませんでした。

土壌診断点数 …… 合計5点

● **品種選定**
次年度の品種選定で悩んでいる方は、表①を参考にしてください。

令和3年産に向けて

- ④ 早期発見に努め、発病を確認次第、発病株を抜き取り、圃場外で焼却処分する。もしくは、土中深く埋める。圃場の10%以上の株が発病していれば多発といえます。何の対策も講じなければ、次年度以降、被害が増加していく恐れがあります。初発時に発病株を抜き取るなど、できることから始めましょう。

農業

テクニカルダイアリー

スイカ

芝山経済センター 営農指導員 伊藤 統之

令和2年産を振り返って

昨年の台風被害により、多くのスイカ生産者にとって、今年度は再建に向けた年となりました。いまだに再建に至っていない施設もあり、早い復興が望まれます。

作柄を振り返ってみると、早期のトンネル栽培では着果が悪く、収量が減少しました。また昨年同様、梅雨が長く、低温・降雨の日は続き、病害(褐色腐敗病等)が発生しました。販売面では、新型コロナウイルス

次年度対策

① **低温における交配までの管理**
早期のトンネル栽培では、4月上旬〜中旬に交配します。この時期は寒暖の差が著しく、栽培管理が特に難しい時期です。このため、交配2週間前の温度管理が重要となります。

② **交配**
現状では、ミツバチによる交配が主流となっています。ミツバチは過湿状態を嫌います。雨天時、低温時に動きが鈍り、良質な雌花や雄花があっても活動しないことがあります。この場合は、人の手による交配が必要です。

③ **土壌水分**
今年は7月に雨の日の続き、土壌水分が過多となる圃場が見られました。排水不良の圃場では、明渠などによる排水対策を検討しましょう。



写真① すいかふん(写真提供:萩原農場)



写真② すいかふんが着いた状態

「営農情報メール」配信中!

作柄情報、病虫害対策、青果物概況、イベント案内など、営農に役立つ最新情報をお届けします。

↓登録はこちらから(登録無料)



JA山武都市の組合員ならどなたでも登録できます。